

Journal of the Japanese Society for Cultural Heritage

遺跡学研究

ISSN 1349-4031

日本遺跡学会

Japanese Society for Cultural Heritage

2022 第19号

特集

復元という遺産

研究論文

伊藤 文彦・筈島 大悟

日本における文化財「活用」概念の成立

研究ノート

禰宜田 佳男

これからの文化財行政を考える－SDGs という視点に照らしてみて－

目次

遺跡学研究 第19号 2022

特集 復元という遺産

特集趣旨 前川 歩	1
会長挨拶 坂井 秀弥	2
基調講演	
1990年代の復元整備とその思想 田中 哲雄	3
講 演	
遺跡の復元と地域社会 若狭 徹	9
観光のまなざしから考える遺構の復元 和泉 大樹	15
事例報告	
みんなでつくる縄文ムラ 一史跡梅之木遺跡公園（山梨県北杜市）と市民ボランティア 佐野 隆	21
パネルディスカッション	27
パネリスト：田中 哲雄・若狭 徹・和泉 大樹・佐野 隆	
コーディネーター：白崎 恵介	
コメンテーター：本中 真	
附 論	
遺跡のプロセス・プランニング 前川 歩	45

研究論文

日本における文化財「活用」概念の成立 伊藤 文彦・篠島 大悟	51
--------------------------------	----

研究ノート

これからの文化財行政を考える —SDGs という視点に照らしてみて— 楠宜田 佳男	64
---	----

遺跡学フォーラム

SITE 04 史跡永納山城跡の復元的に整備された土壘 秋山 邦雄	73
歴史遺産を活かした国際交流への歩み 大竹 幸恵	75
『水中遺跡ハンドブック』について 芝 康次郎	79
日本災害・防災考古学会の設立について 林 正憲	83
令和3年度の史跡等の整備について 中井 將胤・小野 友記子・岩井 浩介・玉川 元氣	87
遺跡雑感 03 西大寺旧境内 一市街地に眠る大寺院一 林 正憲	8